

第 2 章 まちづくり長期ビジョン

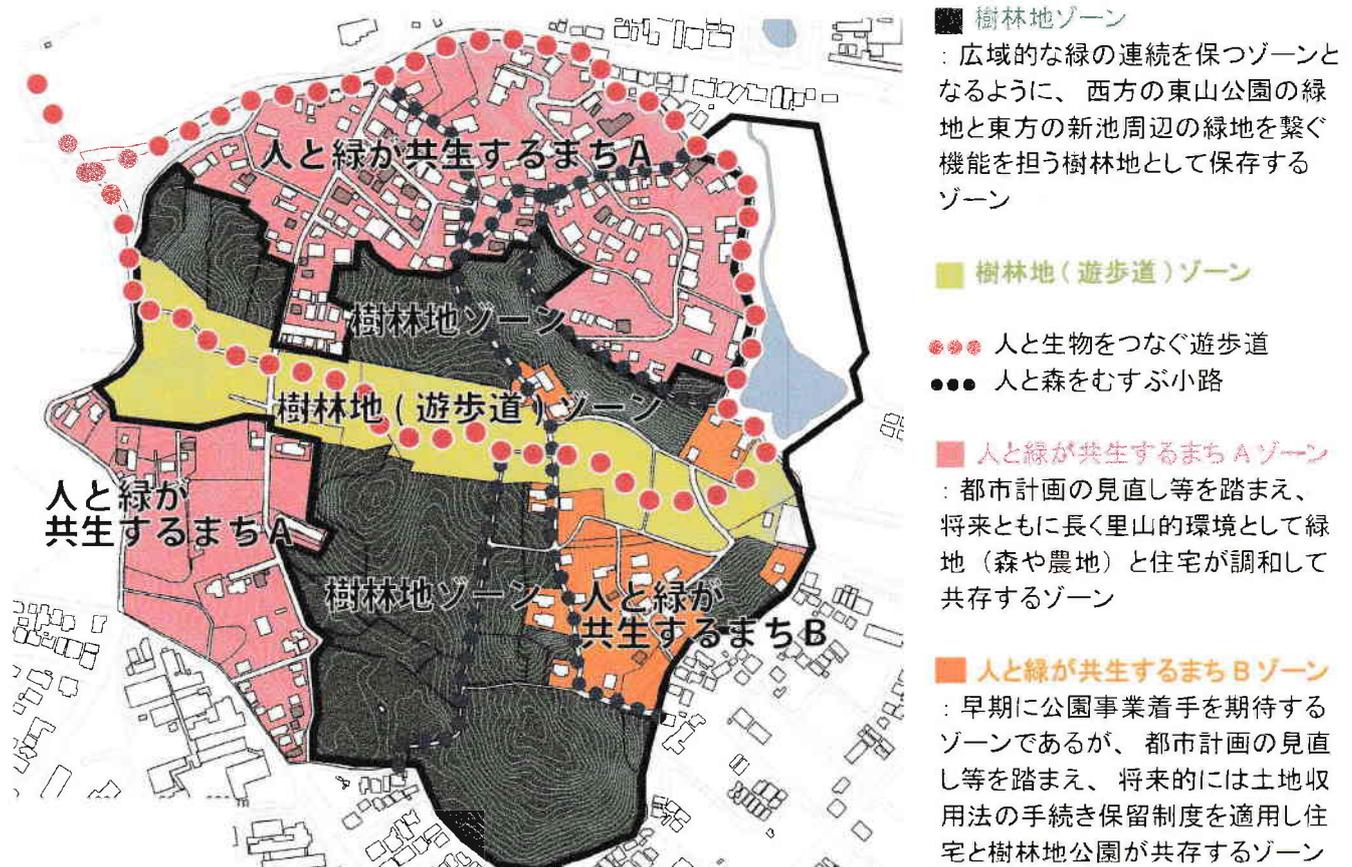
現状と課題を踏まえて、藤巻町の目指す将来のまちの姿を次のように構想しました。

2-1 藤巻町の“まちづくり”の方針

- 東山植物園に隣接し、周辺の自然と調和した“緑豊かな低層戸建て住宅”、“風致地区のなかの住宅地”といった静かな住環境を好む人々に好まれる“まちづくり”。
- あたかも公園緑地の一画のような藤巻の環境・生活の魅力を生かした“まちづくり”。
- 名古屋市民が憩う公園緑地としての役割にも寄与する“まちづくり”。

2-2 将来の土地利用ゾーンイメージ

将来のまちの姿を大きく3つのゾーンに分けて提案します。



■ 早期の公園事業着手が期待されている一部の区域では

もし早期に公園事業への着手が可能な場合は、この太黒枠の範囲内にある「人と緑が共生するまち B」は公園区域として整備を図ることも考えられます。ただしその場合には、現在居住する住民の都合に合わせて住み続けられるよう、長期的な見通しで公園事業が進められること、居住者が住む間は住環境の改善努力が図られることが前提となります。(※詳しくは構想書の本編を参照)

